

6月定例報告

市長総括説明から

6月2日、平成20年度第2回市議会定例会が開会しました。

はじめに、市長から採血用穿刺器具の使用について報告し、続いて、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものについて説明をいたしました。

その概要をお知らせします。

安全に安心して暮らせるまち

円山川緊急治水対策事業 国により、事業の推進が図られ、河道掘削工事は、円山川の中・下流部および出石川で進められています。 築堤工事は、一日市区の軟弱地盤対策工事に着手され、小河口・八代区の河道掘削土砂処分も進んでいます。 総合健康ゾーン整備 施設の維持管理・運営業務を行う「豊岡総合健康ゾーン

PF I株式会社」が設立され、5月12日に基本契約を締結しました。建設工事は、平成21年度から着手します。

豊岡病院の

救急医療確保対策

地域医療を取り巻く状況は非常に厳しいものがあり、豊岡病院でも、時間外や救急患者の集中、軽症でも安易に救急を受診するコンビニ受診の増加などにより、救急医療の崩壊を危惧する状況となっています。

市は、緊急に対応すべき課題として、公立豊岡病院組合と連携し、医療現場の状況の理解と救急の適正利用を市民にお願いしていきます。

また、市立休日急病診療所の利用促進に努め、病院救急医療の負担軽減を図ります。

後期高齢者医療制度

今年4月から、これまでの老人保健制度に代わり、後期高齢者医療制度がスタートしました。市では、一部の方には、保険料を年金から天引きさせていただきました。他の方も7月には納付いただく予定です。

今後とも機会あるごとに、制

度の内容等をお知らせし、理解を求めていきます。

豊岡市国民健康保険税条例

の一部改正

豊岡市国民健康保険運営協

議会の答申を受け、条例の一部改正案を提出しています。過去3年間続けていた旧市町ごとの不均一課税を廃止しましたが、被保険者の負担増を減らすため、基金から充当しています。

さらに、医療制度改革に伴う地方税法の一部改正により、国保税の課税方式を従来の医療分、介護納付金分の2本立てから、後期高齢者支援金分を追加した3本立ての課税方式とすることとしています。

人と自然が共生するまち

コウノトリの

野生復帰の推進

百合地区の人工巣塔を始めとする6カ所のコウノトリのヒナは、順調に成長しています。

市では、餌場となる湿地の整備や生息地のネットワーク、環境創造型農業の拡大などに取り組み、多彩な生きものと共に生きるまちづくりを展開していきます。

(仮称)八チゴロウの戸島湿地は、秋の完成を目指して、県と市が共同で整備を進めています。しかし、湿地内でヒナ

のふ化が確認されたことから、一部の工事の実施を制限しています。なお、湿地全体を公の施設とする条例案を提出しています。

広域ごみ・汚泥処理施設の

建設計画

4月23日、候補地選定委員会で「森本・坊岡区」が適地として選定され、これを受けて、北但行政事務組合で、候補地として決定されました。現在、竹野地域で市民説明会が、また候補地の周辺地区に対して、事業説明会が開催されているところです。

地球温暖化防止対策

実行計画の策定

事業所としての市役所は、温室効果ガスの排出抑制実行計画の策定と公表が義務付けられています。新市としては未だ策定していませんでした。そこで、今年度に行き先を策定し、市役所自らが率先して積極的に温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを進めます。

持続可能な力を

高めるまち

子ども農山漁村交流

プロジェクト

国では、全国の小学校が農山漁村における体験活動を行うことを目指し、今後5年間で受入れ体制整備等を図るプロジェクトを進めることになりました。本市は、全国で50のモデル地区の一つとして内定を受けました。今後は早期に、長期宿泊体験推進協議会を設立し、グリーンツーリズムを中心としたメニューを用意し、積極的な受入れを図っていきたくと考えています。

兵庫県大型観光交流

キャンペーンの取組み

来年開催されるキャンペーンに向けて、5月に神戸市で全国宣伝販売促進会議が開催されました。市では、城崎麦わら細工の実演と豊岡鞆・出石焼の展示等を行い、商談会では、観光素材のPRを行いました。また、エクスカーションでは、旅行代理店の方々に本市の観光素材を視察していただきました。今秋には、ガイドブックによる全国キャンペーンが実施されます。

今後、各種媒体を利用し、京阪神はもとより、首都圏を中心に、本市の魅力在全国に発信していきます。

地域有機農業推進事業の

取組み

今年度から有機農業総合支援対策が推進されることになり、本市は、地域有機農業推進事業に応募し、全国で45の団体等の一つとして内定を受けました。これを受け、「コウノトリ共生農業推進協議会」を設立しました。

今後、「コウノトリの舞」の普及・拡大や田んぼの生きもの調査などを実施し、コウノトリと共生する豊岡型環境創造型農業を一層推進していきます。

木屋町小路整備事業

整備は順調に進んでおり、7月26日にオープンの予定です。本施設は、「城崎町商工会」が指定管理者として管理運営することとしています。

たんたん温泉福寿の湯施設

整備事業

整備は順調に進んでおり、7月28日にオープンの予定です。本施設は、「たんたん温泉運営管理組合」が指定管理者

になり、農家民宿などの施設、チューリップまつり等の交流イベントと豊かな自然をネットワーク化する拠点として、管理運営することとしています。

コウノトリ但馬空港の

利用促進

東京直行便の実現に向けて、目標搭乗率を70パーセントとする「ターゲット70」と称したコウノトリ但馬空港利用促進大作戦を展開しています。

本市をはじめ、但馬地域や丹後地域の潜在的な航空需要を目に見える形で示し、国や航空会社に強くアピールしていきます。

全但バスの路線休止対応市としての路線維持に対する考え方と運行計画案を取りまとめました。今年10月から来年9月までの1年間を実証期間とし、その後、評価と見直しを行うこととしています。

永楽館の復原を行ってきたが、7月23日にオープンの予定です。

永楽館整備

復興記念の初興行として、「永楽館柿落大歌舞伎」を8月1日から5日まで計10回の公演を行います。また、興行

前日には、出石藩夏祭り तथा イアアップして、出石城下町を役者が顔見世する「お練り」を行うなど、永楽館の復興の気運を盛り上げていきます。

未来を拓く人を育むまち

病児・病後児保育

市では、病気の回復期にある児童を一時的に預かる病後児保育を実施してきましたが、7月から病気初期や病気の回復期に至らない病児も保育できる病児対応型保育事業へ移行し、子育てと就労の両立を支援していきます。

学校施設整備計画の推進

豊岡市学校施設整備計画に基づき、新耐震基準施行前に建築された20校の耐震化の検討を進めています。耐震順位上位7校の耐震診断の実施および補強計画の作成が終わり、今年度は、豊岡北中学校の耐震補強工事に着手します。他の学校については、財政状況等も考慮しながら、順次、実施していきます。

市政の運営

都市計画税のあり方の見直し方針

都市計画税の廃止に伴う代替財源の確保策である市税の

超過課税は、次の方針とすることにし、豊岡市市税条例の一部改正案を提出しています。市民税と固定資産税の組合せとする。

税率の設定は、資産に対する課税の増加幅を小さくし、資産はあるが収入の少ない世帯に配慮する。

併せて、人件費削減、経費削減などの行政改革を徹底的に進める。

なお、行政改革は、平成26年度までに81億5千万円の効果を見込んでいますが、さらに起債の繰上償還、人件費の削減効果を追加します。

第三セクター方式の解消

但東地域の家庭ごみ収集運搬業務については、市も出資する第三セクターである有限会社但東クリーンセンターと随意契約していますが、入札に改めます。第三セクターは入札に参加できないため、同社の申し出を受け、8月に第三セクター方式を解消する予定です。

下水道受益者負担金の事務処理誤りの対応状況

該当の方々にお詫びをする

とともに、負担についての理解と協力をお願いしてきました。その結果、事務処理誤りの合計206人、3,997万9,043円のうち、144人、2,694万6,231円については、協力の納付または納付の約束をいただきましたが、残る62人、1,303万2,812円については、理解を得ることができませんでした。

改めて、議会、市民の皆様

に心からお詫びを申しあげます。

今後は、さらに事実関係の把握に努め、職員への対応を検討し、再発防止に努めます。

4月1日、暫定税率が一部を除き失効したことから、市では、やむを得ず、平成20年度当初予算に係る108事業、事業費総額約18億5千万円の実施を凍結しました。

5月1日の暫定税率復活に

合わせて予算の凍結を解除しましたが、失効期間の収入減が見込まれ、国の責任で適切な補てん措置を確実に講じられるよう、強く要請していきます。